

2021年2月4日

森喜朗氏の女性蔑視の発言に抗議し、辞任を求めます

日本婦人団体連合会(婦団連)

会長 柴田真佐子

東京オリンピック・パラリンピック組織委員会の森喜朗会長は日本オリンピック委員会の臨時評議員会で、女性理事を増やすJOCの方針に対し「女性がたくさん入っている理事会の会議は時間がかかります」などと発言したと報道されています。

今回の森喜朗会長の発言に強く抗議し辞任を求めます。意思決定の場への女性参画は、国際的な常識であり、国際水準の「203050」には遅れをとりながらも日本政府も推進していることです。

「女性が多い会議は時間がかかる」とか「女性の理事を増やす場合は、発言時間がある程度、規制」など、女性蔑視極まりない発言で、許せません。会議は、自由闊達に意見を述べるのが大切であり、自由にモノが言えない組織は発展しません。

女性たちはもう黙っていません。婦団連も加盟する国際婦人年連絡会は、昨年、2020 NGO日本女性大会を開催し「私たちは黙らない 女性の権利を国際水準に！」とアピールしたところでした。

森喜朗氏は今までにも女性蔑視の発言を繰り返しており、ジェンダー平等を実現する流れに逆行しています。東京五輪・パラリンピック大会組織委員会会長の辞任を求めます。